

施策評価調書(23年度実績)

施策コード | II-2-(1)

政策体系	施策名	ものづくり産業の振興	所管部局名	商工労働部		
	政策名	活力を創造する商工業等の振興	関係部局名	商工労働部		

長期総合計画頁 | 87

【I. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	多様な産業集積の推進による 競争力強化	地場企業の体質強化

【II. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		23年度			24年度	27年度	目標達成度(%)								
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	25	50	75	100	125				
i	経営革新計画承認累計件数(件)	②	H16	167	571	564	98.8%	626	791									
ii	県内特許出願件数(H15年以降)(件)	②	H15	179	1,585	1,594	100.6%	1,745	2,225									
iii	産学官共同研究数(件/年)	①	H16	50	117	103	88.0%	117	117									

【III. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね達成	震災等の影響により景気が低迷する中、企業訪問や商工団体等との連携により経営革新計画への取組促進に努めた結果、目標値を概ね達成した。	概ね達成
ii	達成	日本弁理士会や九州経済産業局との連携による、知的財産制度に関するセミナー開催等の普及啓発により、県内企業の特許出願等の知的財産取得に対する意識の醸成が図られ、目標値を達成した。	
iii	達成不十分	自動車、半導体など戦略的な産業分野を中心に産学官連携を支援してきたが、東日本大震災による経済の低迷や、タイ洪水、円高等による海外景気の減速などによる先行きの不透明感から、企業が研究に対する経費を削減したことにより目標値を達成出来なかった。 今後は、医療機器関連産業など新たな分野においても、産学官共同研究の推進に努めていく。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連産業では、地場企業の技術力向上、受注獲得機会の拡大を図り、自動車関連産業への参入企業が106社となった。 半導体産業では、韓国及び台湾企業とのビジネス交流に取組み、販路拡大に繋がった。 また、コンビナート企業と地場企業が連携して行う取組に対して支援し、地場企業の育成とコンビナート企業の競争力強化が図られた。(3件)
②	<ul style="list-style-type: none"> 営業支援システムなどのIT導入経費の一部を助成したことにより、顧客情報の効率化による経費節減や生産工程の効率化など、生産性の向上が図られた。(8社) また、企業、団体向けに九州経済産業局や日本弁理士会と連携した知財セミナーを開催し、知的財産権の普及啓発が図られた。(全7回、延べ231名参加)

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 自動車関連産業新規参入促進事業	現状維持	-	16,076
	2 自動車関連産業企業力向上事業	現状維持	89	29,662
	3 おおいたLSIクラスター構想推進事業	現状維持	88	68,019
	4 太陽電池産業集積促進事業	終了(23年度末)	87	37,345
	5 コンビナート企業国際競争力強化対策事業	見直し(24年度)事業内容の変更	86	17,504
②	1 中小企業経営革新支援事業	見直し(24年度)事業内容の拡充	-	28,475
	2 技術・製品開発事業	現状維持	-	8,862
	3 中小企業IT経営推進事業	現状維持	90	52,281
	4 知的財産創出支援事業	現状維持	-	2,784

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①、②の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連産業への新規参入においては、これまで以上に技術力を高め、その技術力を積極的にアピールしていく取組が必要 コンビナート企業と地場事業との一層の連携の推進 経営革新計画承認件数は目標値を概ね達成したものの前年度に比べ減少したことから、制度の普及啓発の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者のIT導入の気運醸成を図るため、具体的な先進事例などを紹介、解説するなどIT活用セミナーの充実 中小企業者や各種団体等への知的財産制度の普及啓発の強化

【VII. 施策に対する意見・提言】

○企業訪問(H23.11) ・自動車産業に参入したいが、どこから手をつけて良いのか分からないので、メーカーの方など専門家を通じてアドバイスをしてもらいたい。	○企業訪問(H24.6) ・新規分野に取り組むにあたっては、大学や高専等と連携する必要があるため、その支援をお願いしたい。
---	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> 自動車関連産業については、北部九州に立地するカーメーカーの生産拠点化と部品供給におけるアジア地域との競争激化に対応するため、県内企業の更なる競争力強化を図る。 半導体産業において、取引拡大、競争力強化、企業力向上に向けた取組みを引き続き行っていく。 コンビナート立地企業の国際競争力を強化するため、「大分コンビナート企業協議会」を設立し、競争力強化ビジョンの策定や人材育成に取り組む。 経営革新について制度の普及啓発のため、金融機関等関係機関に協力を求めることにより利用促進を図るとともに、商工団体の会議等に出席し、案件の一層の掘り起こしを要請する。また、フォローアップ等を通じて、経営革新計画終了企業のさらなる経営革新への取組みを喚起する。 引き続きセミナー等による普及啓発を実施し、県内企業の知的財産権に対する意識を醸成することで、海外を含めた事業展開における戦略や、自社技術の防衛手法の一つである知的財産権の出願を促進する。